

市民映像が伝える東日本大震災の真実 “記憶と記録を考える”

「東京ビデオフェスティバル」入賞作品上映会を開催

- 10月20日(日) 大田区産業プラザ(PiO) 3F 特別会議室(入場無料、先着80名様)
- 第1部 11:00~12:30 「東京ビデオフェスティバル2013」入賞4作品を上映
- 第2部 13:00~15:30 ①特別上映『原発の町を追われて～避難民・双葉町の記録～』(本編・続編)
②作者トーク&インタビュー

特定非営利活動法人「市民がつくる TVF」(代表理事:小林はくどう)は、今秋開催の「第1回蒲田映画祭『シネマパラダイス蒲田』」^{※1}の最終日(10月20日)に、“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル」^{※2}入賞作品上映会を開催します。

上映会では、2年半前に起きた未曾有の東日本大震災、福島原発事故を特集します。第1部は、「東京ビデオフェスティバル2013」の中から大震災関連の入賞作品4本を上映。第2部では、市民ビデオ作品『原発の町を追われて～避難民・双葉町の記録～』(作者:堀切さとみさん、埼玉県市民映像作家)の本編(40分)及び続編(25分)を連続上映し、作者と会場を繋ぐトークインタビューを行います。

特に第2部では、原発事故でさいたま市に集団避難している福島県双葉町の人々に対し、1年以上にわたって対話による直接取材で得た被災者の真実の姿や声を集めた市民目線の作品を特別上映します。上映後は、作者からの制作に対する思いや、故郷を離れざるを得ない日常の暮らし、バラバラになった家族や友人たちとの心のあり方など、映像から見えてくる事実を通して、マスメディアと市民メディアとの特性や表現技術の違いなどについて、会場の参加者との対話を広げ、大震災の真実を知ると同時に映像文化の意義を考えていきたいと考えています。

当法人は、本上映会等での社会性、公共性を生かした活動により、未来社会に向けた市民のための映像文化の発展に寄与していきたいと考えています。

※1:「第1回蒲田映画祭『シネマパラダイス蒲田』」

日本映画のふるさとと言われ、日本の映画文化に普及に大きな影響を与えた大田区(蒲田)が、まちの活性化、産業振興を目的に、初めて開催する映像文化イベントです。10月10日から10日間にわたって、区内の文化施設やレストラン、銭湯等を会場に、蒲田にゆかりのある名作映画をはじめ、映画の歴史、楽しさなどが鑑賞・体験できます。

※2:「東京ビデオフェスティバル」

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に、1978年以来、継続し開催されている国際的な映像祭です。現在は、NPO法人「市民がつくる TVF」が主催しビデオ作品の制作、発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化や地域文化の向上を図る活動を行っています。

*「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ(NPOホームページ) URL <http://tvf2010.org/>

— <本件に関する報道関係窓口/一般のお問い合わせ先> —

特定非営利活動法人「市民がつくる TVF」 事務局長 牛頭 進 (ごず すずむ)

〒143-0015 東京都大田区大森西 2-16-2 こらぼ大森 2F

TEL 03-6404-6613/FAX 03-6404-6614/E-mail info@tvf2010.org

<「東京ビデオフェスティバル」入賞作品上映会の概要>

- 開催日時 2013年10月20日(日) 10:30開場
*「第1回蒲田映画祭『シネマパラダイス蒲田』」最終日
- 会場 大田区産業プラザ (PiO) 3F 特別会議室 (住所: 東京都大田区南蒲田 1-20-20)
- 入場料 無料
- 参加方法 当日、直接来場にて (先着 80 名様)
- プログラム

[第1部] 11:00~12:30 「東京ビデオフェスティバル 2013」入賞作品上映

- ①『私たちは忘れない 福島避難区域の教師たち』(作者: 湯本 雅典さん(東京都)/上映時間: 19分50秒)
- ②『l'esprit en suspens~福島とフクシマの狭間で~』(作者: 専修大学田村ゼミ(東京都)/上映時間: 18分30秒)
- ③『原発の礎』(作者: 池田 稔さん(栃木県)/上映時間: 20分)
- ④『被災地との絆~日の出町から田野畑村へ~』(作者: 中央大学松野ゼミ(東京都)/上映時間: 17分3秒)

<案内役> 佐藤 博昭 (1962年、福岡県生まれ。日本大学芸術学部卒。日本工学院専門学校講師。ビデオ作家。東京ビデオフェスティバル審査委員。NPO法人「市民がつくるTVF」理事)

[第2部] 13:00~15:30 特別上映&トークインタビュー ~市民映像が伝える原発被災者の声~

・13:00~14:10 作品上映

『原発の町を追われて~避難民・双葉町の記録~』(本編40分/続編25分を連続で上映)

・14:15~15:30 作者の堀切さとみさんとのトーク&インタビュー

<ゲスト> 堀切 さとみ さん (作者) *詳細後述。

<インタビュアー> 下村 健一 (1960年、東京都生まれ。東京大学法学部卒。TBS報道キャスター等を経て、慶応大学特別招聘教授。市民メディアアドバイザー。NPO法人「市民がつくるTVF」理事。)

<案内役> 小林はくどう (1944年、宮城県仙台市生まれ。多摩美術大学卒。成安造形大学客員教授。ビデオ作家。東京ビデオフェスティバル審査委員。NPO法人「市民がつくるTVF」代表理事。)

●特別上映作品・作者のご紹介

『原発の町を追われて~避難民・双葉町の記録~』



【作品概要】2011年3月11日の津波による原発事故でさいたま市に集団避難した福島県双葉町。原発と共に暮らしてきた町民は、不安と焦燥の中で故郷への思いと今までの生活や今後のことをカメラに向かって語り始めた。不安の今と複雑な思いが交錯する。1年以上の歳月をかけて一市民の目線で描いた渾身のドキュメンタリー作品。

【作者: 堀切 さとみ さん プロフィール】



千葉県市川市生まれ。

小学校の給食調理員として働く傍ら、2008年より映像制作を学ぶ。本作品は、原発に対する人々の声を集めた2作目。マスメディアでは取り上げられない市民視点を大切に市民映像作家としても活躍中。さいたま市在住。